

地域社会を核とした教育と研究のつながり： 総合型地域スポーツクラブの活動を通して

保健体育講座・糸岡 夕里

1. 「総合型地域スポーツクラブ指導実習Ⅲ」の概要

「総合型地域スポーツクラブ指導実習Ⅲ」の授業は、愛媛大学総合型地域スポーツクラブの活動を対象としており、スポーツ健康科学課程スポーツ指導者養成コースの必修科目、スポーツキャリア開発コースの選択科目として位置づいている。

愛媛大学総合型地域スポーツクラブの活動は、教職員、学生、地域の人々が連帯するところが特徴である。特に、学生が主体となってクラブを運営することで、地域に貢献できる優れた指導者の輩出を期待している。

具体的な活動として、スポーツを指導する9つの教室と、教室の活動を円滑に運営するための6つのチームで構成されている。スポーツ健康科学課程および学校教育教員養成課程保健体育専修、学校教員養成課程中等教育コース保健体育専攻、社会共創学部地域資源マネジメント学科スポーツ健康マネジメントコースに所属する全学生（約120名）が、1つのスポーツ教室と1つの運営チーム、それぞれに配属され活動している。

スポーツ指導については、表1に示したように1年次から授業と関連させながら実施しており、段階を踏みながら愛媛大学総合型地域スポーツクラブの一スタッフとしての力量を形成している。

【指導実習Ⅲの目的】

愛媛大学総合型地域スポーツクラブにおけるスポーツ教室の企画・運営・指導に参画し、運動プログラムの作成、安全管理・応急処置に関する実践的知識、多世代の会員とのコミュニケーションスキル、運動・スポーツに関する実践的指導力等について学修する。

【指導実習Ⅲの到達目標】

- (1) 運動教室の企画・運営・指導に関する留意事項を説明できる。
- (2) 運動プログラムを作成し、その目的と効果を説明できる。
- (3) 運動プログラムの実施にあたり、ポイントをおさえた具体的な指導ができる。
- (4) 多世代の人と能動的にコミュニケーションを取ることができる。

表1 総合型地域スポーツクラブ関連授業

対象	【授業】 内容
1年次	【総合型地域スポーツクラブ指導実習Ⅰ】 各スポーツ教室の指導理念や実施方法について理解する。
2年次	【総合型地域スポーツクラブ指導実習Ⅱ】 配属されているスポーツ教室以外のスポーツ教室の活動を参観し、評価できる点や課題についてまとめる。
3年次	【総合型地域スポーツクラブ指導実習Ⅲ】 配属されているスポーツ教室の指導理念、自身の役割を明確にし、その成果と課題についてティーチング・ポートフォリオにまとめる。
4年次	【総合型地域スポーツクラブ指導実習Ⅳ】 新たなスポーツ教室を開設し指導する。

2. 「総合型地域スポーツクラブ指導実習Ⅲ」の授業内容

「総合型地域スポーツクラブ指導実習Ⅲ」の授業では、配属されたスポーツ教室の指導を対象としたティーチング・ポートフォリオを作成することを中核としている。

学生は、ティーチング・ポートフォリオを作成するにあたり、愛媛大学総合型地域スポーツクラブの理念、各教室の指導理念について再確認し、その理念を達成するた

めの学生自身の役割を明確して、1年間スポーツ教室の指導にあたる。

前期を終えた時点で、会員を対象に調査をすることとし、必要であれば成果検証の追加調査を実施することとしている。調査内容については、各スポーツ教室の内容、学生の役割の成果が確認できるよう、各スポーツ教室単位で作成する。

年度途中の調査結果をふまえ、スポーツ教室の課題改善を図り、後期のスポーツ指導を実施する。そして年度最後のスポーツ教室にて、再度会員を対象とした調査を実施する。

それらの調査結果をふまえ、今後の課題を明らかにし、ティーチング・ポートフォリオとしてまとめる。

授業では、ティーチング・ポートフォリオの作成過程やスポーツ教室の指導状況について確認し、随時指導を行った。

ティーチング・ポートフォリオの目次として、表2の内容を提示し、各学生において適宜修正するよう指導した。()内は作成にあたっての注意事項である。A4用紙に作成し、10頁程度で仕上げることとした。

なお、各スポーツ教室には複数名の学生が配属されているが、ティーチング・ポートフォリオは学生が各自作成することとしている。

表2 ティーチング・ポートフォリオの目次案

- | | |
|---|-----------------------------------------------------------|
| ① | 愛媛大学総合型地域スポーツクラブの理念・目標 |
| ② | 〇〇教室の理念・目標・指導方針 |
| ③ | 〇〇教室での自分の役割・責任 |
| ④ | 自分の指導方針・指導哲学 |
| ⑤ | 指導に関する特徴的な方法や工夫している点
(写真を使いスポーツ教室の雰囲気
がわかりやすいようにする) |
| ⑥ | 自己の指導内容並びに指導改善のための情報
(会員への調査は必須とする) |
| ⑦ | 教室改善へ向けた引継ぎ事項 |
| ⑧ | 自己の目標 |

そのため、目次③の「〇〇教室での自分の役割・責任」の項で独自性を明確にすることとし、調査内容についても、すべての結果を全員が使用するのではなく、学生の役割に応じて必要な内容を使用するよう指導した。

3. 授業評価

本授業の授業評価として、学生の作成したティーチング・ポートフォリオの「自己の目標」の一部を以下に抜粋した。

スポーツ教室を通して、指導の成果をアンケート調査により明確にすることや他世代の地域の人との交流ができることは、学生にとって貴重な経験となっており、社会人としても汎用可能な能力が身に付いていることが確認できた。今後より一層充実したクラブとなるよう努めていきたい。

これまでアンケート調査を過去に何度か行ったことがあるが、全員に満足していただいているという集計結果が出たことはないと思う。これまで3年間活動して、それぞれの会員の方の性格、その方の目標や参加している意義など少しずつ分かってきた。だからこそ、それらを踏まえた上でのコミュニケーションの取り方やサービスを提供しなければいけないと思う。 —中略—

この教室や総合型のイベントを通して、子どもから大人までさまざまな人を関わる貴重な経験ができていると思う。いろいろな人の立場になって考えることができ、新たな発見をすることが数多くあった。スタッフとして相手のことを第一に考えて行動するということは社会に出ても同じだと思う。今後社会に出て、子どもたちにスポーツを教えたり、あるいは成人を対象として運動指導をしたりする機会があるかもしれない。その時に、今取り組んでいるこの経験は必ず活かされると思う。

この総合型地域スポーツクラブでの活動をきっかけに生涯を通して、スポーツを通してたくさんの人とコミュニケーションを取り、豊かなスポーツライフを実現したいと思う。